

⑤ オクラを育てよう

水はけいい場所を選ぶ

オクラは、アオイ科の1年草。アフリカ北東部原産で高温を好む野菜です。水はけのよい有機物の多い土壌を好みます。生育適温は25から30度で、10度以下で生育が止まります。

1. 種、苗の準備

種を直接まくか、苗を植えます。品種は、切り口が五角形の五角オクラ、丸オクラ、実が赤い赤オクラなどがあります。

2. 畑の準備

定植の2週間前に1平方メートルあたり苦土石灰100グラムを散布し、耕うんします。その1週間後、1平方メートルあたり堆肥2kg、化成肥料（成分8・8・8）150グラム、ヨウリン20グラムを散布し、耕うんします。

3. 播種又は定植

畝幅60センチ（床幅30センチ、通路幅30センチ）の畝を作り株間は15センチにします。5月になってから種を播きます。1本植えでは草勢が強くなり早く実が固くなるので、柔らかい実で収穫できるように1カ所に種を4粒播き、発芽がそろったら3本に間引きます。播種後は、穴あきのポリやビニールで保温します。ビニールなどは気温が上がる5月末には取り外します。苗を植える場合は、根鉢を崩さずに5月中下旬に定植します。播種又は定植後は灌水します。

4. 追肥、土寄せ

本葉が4、5枚のとき追肥用化成肥料を1株当たり10グラム施し土寄せをします。その後月に2、3回20グラムずつ施用します。

5. 灌水

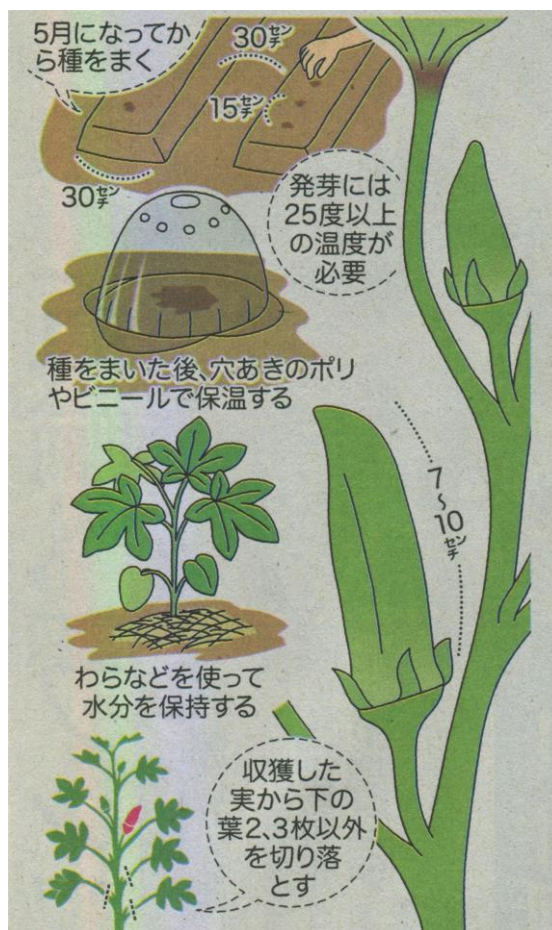
土壌に水分が不足すると、さやの発育が遅くなり品質が低下します。梅雨明け後はこまめに灌水を行います。わらなどを使って水分を保持します。

6. 病害虫

半身萎凋病、苗立ち枯れ病、ネコブセンチュウが発生するので連作をしないで、他野菜との輪作などを心がけます。アブラムシ、ハマキムシが発生するので気を付けます。

7. 収穫、摘葉

さやの長さ7～10センチ程度ではさみを使って収穫します。取り遅れると実が固くなるので、朝晩見て適期に収穫しましょう。収穫を始めたなら収穫した実の下、2、3枚を残してそれより下の葉ははさみで切り落として風通しをよくし、病害虫を抑えます。



（鹿児島市都市農業センター）